

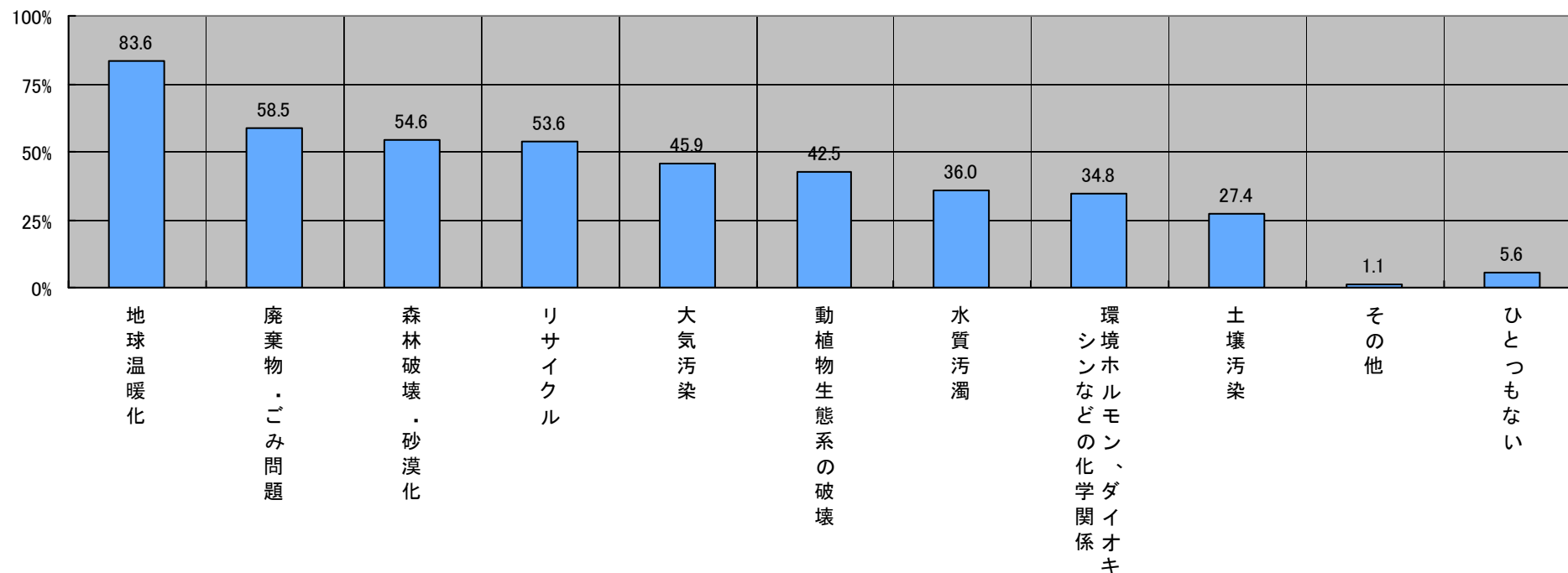
'08年度 エコライフ意識実態調査 第1回リリース資料(Vol.1)

1. 環境関連諸問題への関心度



- “地球温暖化”が84%で最関心事。
 - “廃棄物・ゴミ”“森林破壊・砂漠化”“リサイクル”も50%を上回る。

Q1興味・関心のある環境問題... (MA)

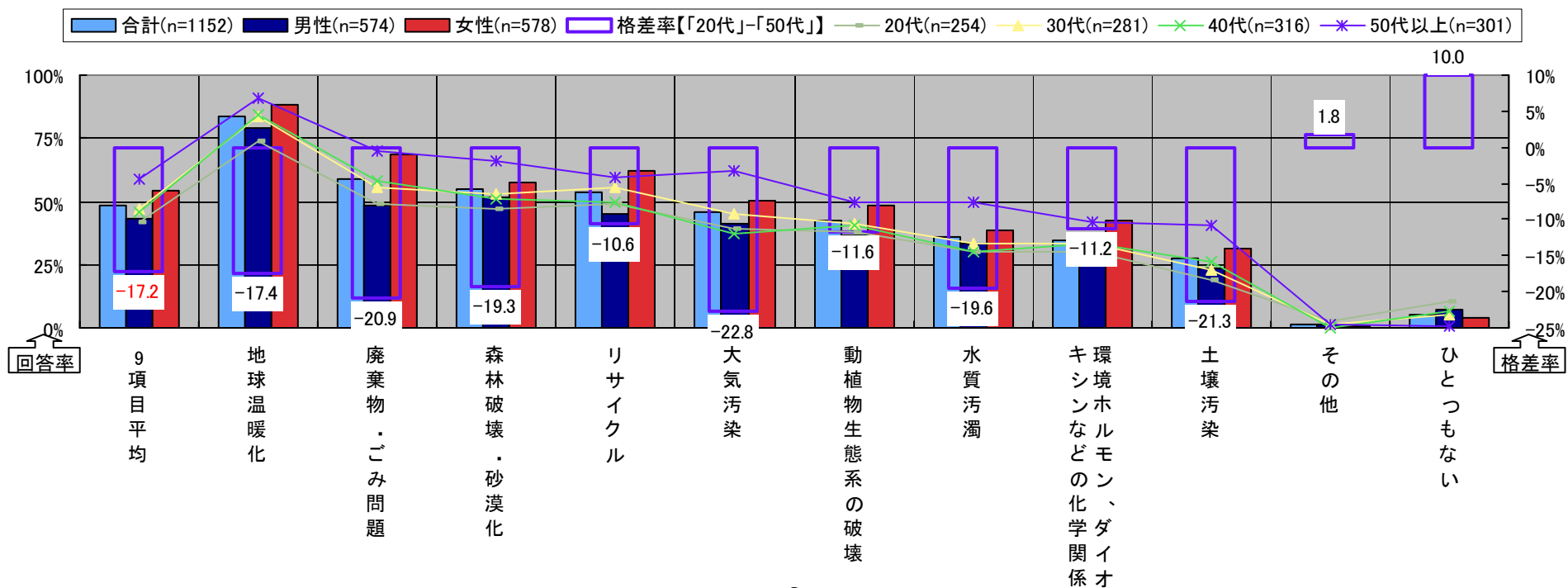


Q1: 新聞・マスコミ等で話題になっている環境問題には以下のようなものがありますが、あなたが興味・関心を持たれているものはありますか？(MA)



- 環境関連諸問題への関心度は男性よりも女性で高く、また、高齢層ほど高まる傾向。
 - 年代間格差(20代vs.50代以上)は非常に大きく、9項目平均で17%50代以上の方が高い。

Q1 興味・関心のある環境問題

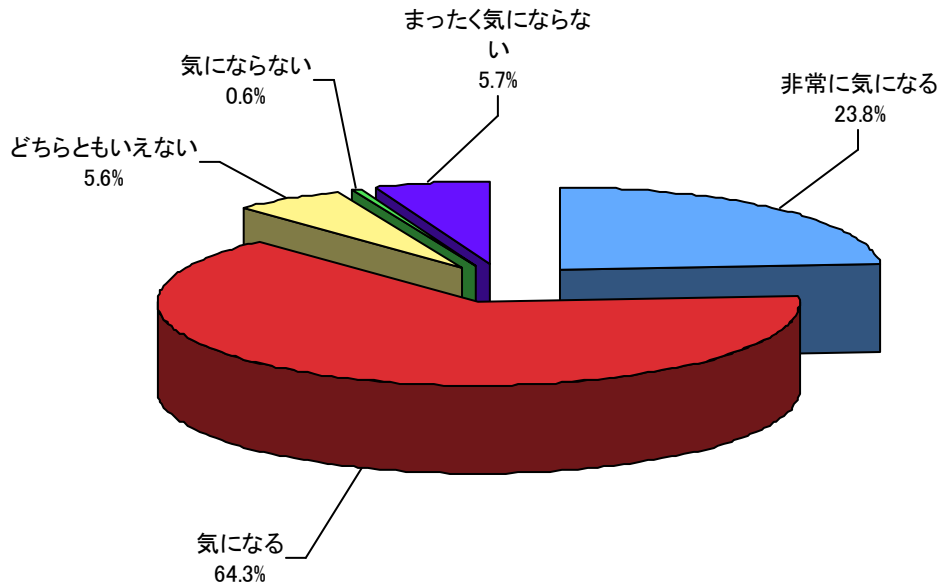




2. 環境問題への意識と行動

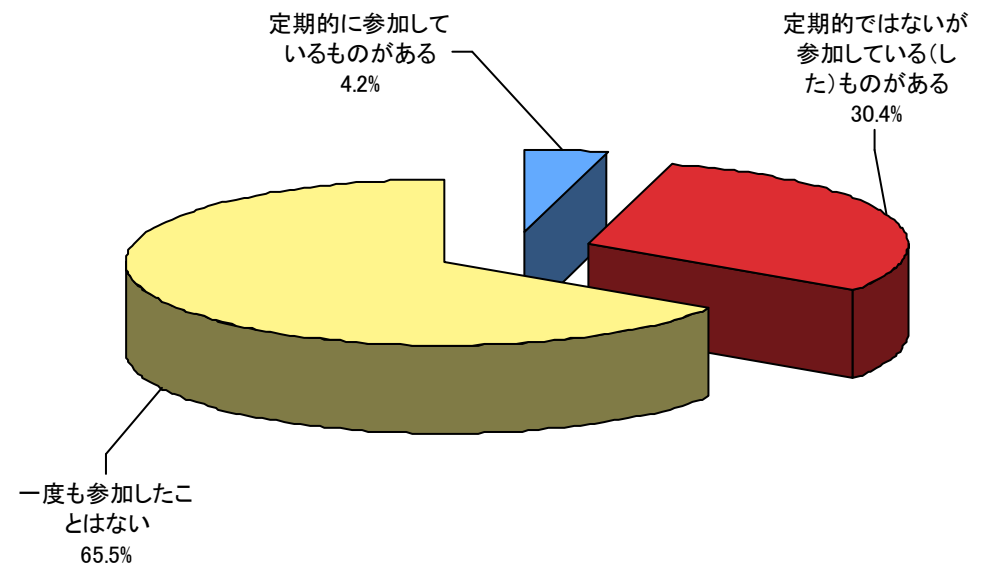
- 環境問題への意識(気にしている率)は88%と極めて高い。一方、環境問題に関する何らかの社会活動の実践経験は35%にとどまる。

Q2環境問題の関心度



Q2:あなたは、こうした環境問題がどの程度気になっていますか？

Q3環境保全・保護に関わる社会活動への参加状況



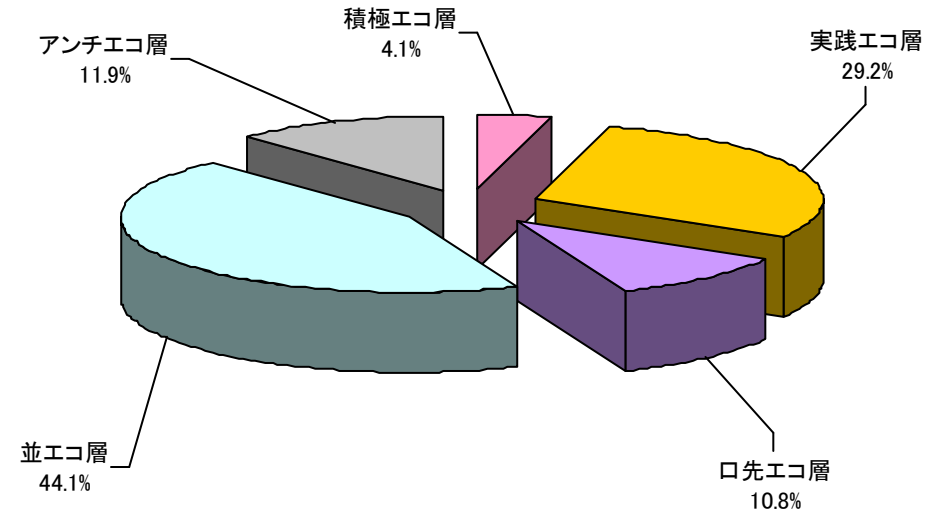
Q3:あなたは、これまでに環境保全・保護に関わる社会活動(環境サミットや環境会議、ゴミ拾い等のようなものでも結構です)に参加したことがありますか？



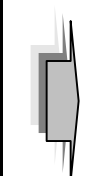
3. エコライフパターン

- 環境問題に対する関心度と社会活動への参加状況を元に「エコライフパターン」を作成・分類すると、意識も高く定期的行動も伴っている“積極エコ層”は4%、反対に“アンチエコ層”は14%を占める。

エコライフパターン(n=1,152)



	全体	Q2環境問題の関心の程度						
		非常に気になる	気になる	どちらともいえない	気にならない	まったく気にならない	不明	
Q3環境保全・保護に関わる社会活動への参加経験	合計	1,152	274	741	64	7	66	0
	定期的に参加しているものがある	48	27	20	1	0	0	0
	定期的ではないが参加している(した)ものがある	350	123	213	8	1	5	0
	一度も参加したことはない	754	124	508	55	6	61	0



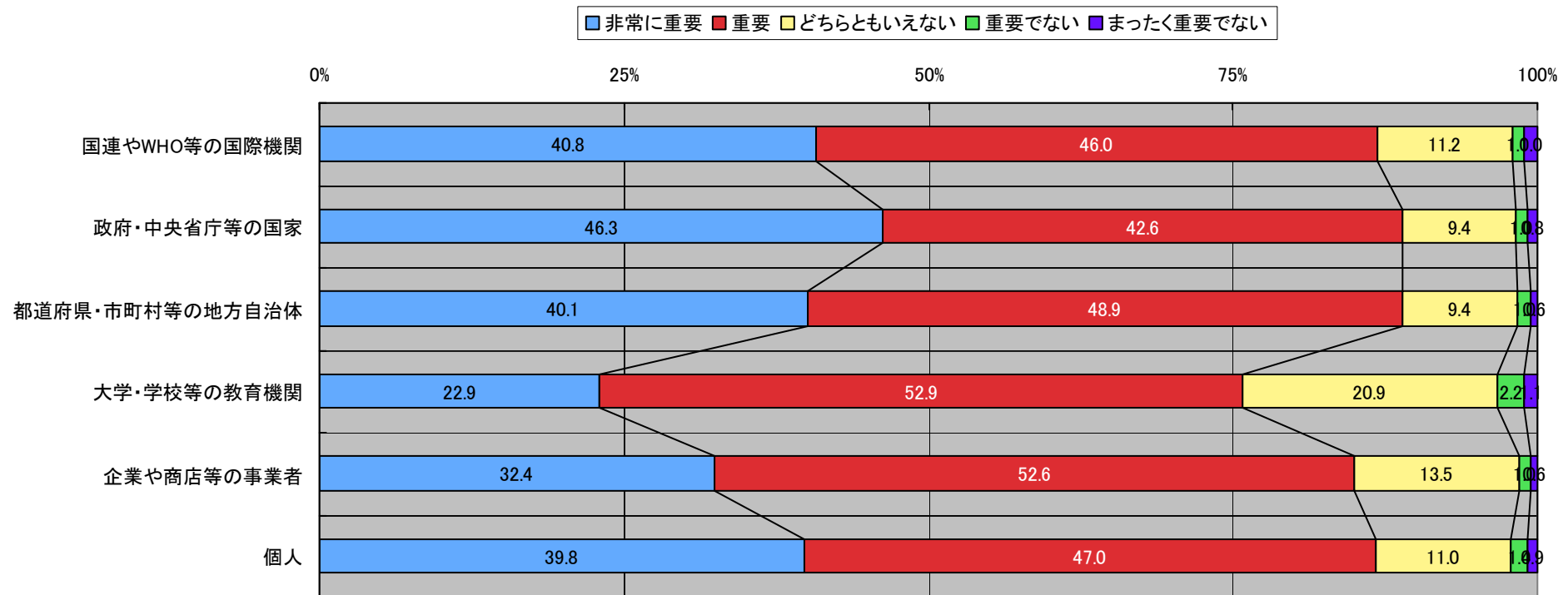
	サンプル数	構成比
全体	1,152	100.0%
積極エコ層	47	4.1%
実践エコ層	336	29.2%
口先エコ層	124	10.8%
並エコ層	508	44.1%
アンチエコ層	137	11.9%

4. 環境問題改善に向けた関与者の役割の重要度認識



- “非常に重要”に着目すると、“国家”の重要度認識が46%で最も高く、個人よりも“自治体・国際機関”、それよりも“国家”の重要性が認識されている。

Q4環境問題の改善に向けて関与者の役割の重要度認識



Q4:あなたは、環境問題の改善に向けて誰の役割がどの程度重要だと思われますか？

質問項目



I 環境問題に関する 全般的な意識	1	Q1興味・関心のある環境問題	III 続き	49	SQ24-1利用しくない理由
	2	Q2環境問題の関心の程度		50	Q25-A安いと感じ始める金額(レンタル傘サービス)
	3	Q3環境保全・保護に関わる社会活動への参加経験		51	Q25-B高いと感じ始める金額(レンタル傘サービス)
	4	Q4-1環境問題改善に向けての役割(国際機関)		52	Q25-C高すぎて利用しないと思う金額(レンタル傘サービス)
	5	Q4-2環境問題改善に向けての役割(国家)		53	Q25-D安すぎて不安に思う金額(レンタル傘サービス)
	6	Q4-3環境問題改善に向けての役割(地方自治体)		54	Q26傘の引き取りサービスへの不要な傘の提供意向
	7	Q4-4環境問題改善に向けての役割(教育機関)		55	Q28自転車の保有状況
	8	Q4-5環境問題改善に向けての役割(事業者)		56	Q29自転車の利用頻度
	9	Q4-6環境問題改善に向けての役割(個人)		57	Q30-1自転車の利用目的(複数回答)
	10	Q5環境問題改善に向けての活動		58	SQ30-1主な自転車の利用目的
II 食品(飲料)容器の 再利用について	11	Q6再利用が必要だと思う食品容器	IV 放置自転車と 駐輪場について	59	Q31自転車の利用理由(複数回答)
	12	Q7“デポジット方式”の認知		60	SQ31-1最大の利用理由
	13	Q8“デポジット方式”の認知経路		61	Q32有料駐輪場の利用状況
	14	Q9“デポジット方式”の有効性の認識		62	SQ32-1利用している駐輪場の数
	15	Q10“デポジット方式”に向くと思うもの		63	SQ32-1利用している駐輪場の数
	16	Q11-A安いと感じ始める金額(デポジット上乗せ%)		64	Q33-1-1駐輪場の利用料金(1ヶ月あたり)
	17	Q11-B高いと感じ始める金額(デポジット上乗せ%)		65	Q33-1-1駐輪場の利用料金(1ヶ月あたり)
	18	Q11-C高すぎて利用しないと思う金額(デポジット上乗せ%)		66	Q33-1-2駐輪場の利用料金(1回あたり)
	19	Q11-D安すぎて不安に思う金額(デポジット上乗せ%)		67	Q33-1-2駐輪場の利用料金(1回あたり)
	20	Q12回収・支払い場所としてふさわしい場所		68	SQ33-1駐輪場-目的地間の距離
	21	Q13“デポジット方式”が再利用促進に与える効果		69	Q34駅利用の際の自転車置き場
III 雨傘のレンタルサービスについて・ 続	22	Q15雨傘の保有本数	V 属性	70	SQ34-1利用頻度
	23	Q16保有している雨傘のタイプ		71	SQ34-2 1回あたりの平均駐輪時間
	24	SQ16-1もっともよく使う雨傘のタイプ		72	SQ34-3その駐輪場所を選んだ理由
	25	SQ16-2-1この1年の購入本数(長傘)		73	Q35-1自転車の盗難にあった経験の有無
	26	SQ16-2-1この1年の購入本数(長傘)		74	Q35-2自転車を撤去された経験の有無
	27	SQ16-2-2この1年の購入本数(折り畳み傘)		75	Q36放置自転車問題への関心
	28	SQ16-2-2この1年の購入本数(折り畳み傘)		76	Q37-A安いと感じ始める金額(1日あたりの駐輪料金)
	29	SQ16-2-3この1年の購入本数(ビニール傘)		77	Q37-B高いと感じ始める金額(1日あたりの駐輪料金)
	30	SQ16-2-3この1年の購入本数(ビニール傘)		78	Q37-C高すぎて利用しないと思う金額(1日あたりの駐輪料金)
	31	SQ16-2-4この1年の購入本数(その他)		79	Q37-D安すぎて不安に思う金額(1日あたりの駐輪料金)
	32	SQ16-2-4この1年の購入本数(その他)		80	Q38-A安いと感じ始める金額(1ヶ月あたりの駐輪料金)
	33	Q17勤務先や学校などへの置き傘の有無		81	Q38-B高いと感じ始める金額(1ヶ月あたりの駐輪料金)
	34	SQ17-1-1置き傘をしている場所の数(箇所)		82	Q38-C高すぎて利用しないと思う金額(1ヶ月あたりの駐輪料金)
	35	SQ17-1-1置き傘をしている場所の数(箇所)		83	Q38-D安すぎて不安に思う金額(1ヶ月あたりの駐輪料金)
	36	SQ17-1-2置き傘の合計本数(本)		84	Q39放置自転車対策としての有料駐輪場整備の有効性
	37	SQ17-1-2置き傘の合計本数(本)		85	F1性別
	38	SQ17-2置き傘をしている理由		86	F2年齢
	39	Q18置き傘をしていない理由		87	F2年齢
	40	Q19-1不意の雨に対する対処方法(最も多い方法)		88	F3就業状況
	41	Q19-2不意の雨に対する対処方法(2番目に多い方法)		89	F4居住地
	42	Q19-3不意の雨に対する対処方法(3番目に多い方法)			
	43	Q20不意の雨で傘を購入する場合の傘タイプ			
	44	Q21不意の雨で傘を購入する場合の心情			
	45	Q22不意の雨で買った傘のその後の利用			
	46	Q23傘のレンタルサービスの認知			
	47	SQ23-1傘のレンタルサービス利用実態			
	48	Q24レンタル傘サービス利用意向			

調査設計



- 調査対象
 - 全国・20-69歳男女個人(個人保険加入者)
- サンプル数
 - 1,1525
 - 性別2区分・年代5区分、計10区分割り付け
- サンプルング
 - MDBネットサーベイアンケートモニター(全国約14万名)をサンプルングフレームとする
- 調査方法
 - インターネット調査
- 実査時期
 - 2008年10月

集計・分析軸



BD1: 基本・デモ特性別

n=	
合計	1,152
男性20代	126
30代	144
40代	159
50代以上	145
女性20代	128
30代	137
40代	157
50代以上	156

BD2: 食品(飲料)容器の再利用意識別

合計		n=
合計		1,152
Q7DPST制認知	DPST制認知	713
	DPST制非認知	439
Q13DPST制回収効果	非常に効果的	252
	効果的	664
	どちらともいえない以下	236

BD3: 雨傘のレンタルサービス意識別

合計		n=
合計		1,152
Q23レンタル傘認知	レンタル傘認知	417
	レンタル傘非認知	735
Q24レンタル傘利用意向	ぜひ利用したい	243
	利用したい	439
	どちらともいえない以下	470

BD4: 放置自転車・駐輪場意識別

合計		n=
合計		1,152
Q36放置自転車問題に対する意識	非常に気になる	323
	気になる	544
	どちらともいえない以下	285
Q39放置対策駐輪場設置	非常に効果的	197
	効果的	403
	どちらともいえない以下	552

ご提供物・価格



- 報告書：
 - テーマ1:環境問題に関する意識・実態編(10設問・A4×15P)
 - テーマ2:食品(飲料)容器の再利用に関する意識・実態編(11設問・A4×15P)
 - テーマ3:雨傘のレンタルサービスに関する意識・実態編(32設問・30P)
 - テーマ4:放置自転車と駐輪場に関する意識・実態編(30設問・30P)
- 価格
 - 4テーマ式:98,000円(税込み)
 - テーマ別:テーマ1&2・各3万円、テーマ3&4・各6万円
- PDFファイルによるご提供
- その他
 - 個別分析等別途費用にて承ります。

お問合せ



- (株)日本能率協会総合研究所
 - MDB事業本部 ビジネスインテリジェンス部
 - 情報発信型調査担当(吉田・岡)
 - 電話:03-6202-1287
 - e-mail:mdb-net@jmar.co.jp